

2019年6月10日 第538号 (年4回発行)

2019 4-6

# アジアの友

The Asia-no Tomo

No. 538

予備校が支える中国人留学生の日本受験

インタビュー アジア人材研究所

行知学園

私の意見私の体験 モントリー パタラパナワン (タイ)



# ABK 新入生歓迎会を開催



4月26日(金)、アジア文化会館(ABK)にて恒例の新入生歓迎会が開催されました。当日はおよそ150名の新入生が参加、大学生(フロア生)たちが調理・準備をした各国料理を頬張り、豪華商品盛りだくさんのビンゴゲームで楽しい一夜を過ごしました。



▲ フロア生会長から新入生への挨拶

▼ フロア生と職員で



▲ 厨房ではぎりぎりまで料理の準備が

▼ ビンゴの結果に一喜一憂の新入生



# アジアの友

2019年度4-6月号 第538号

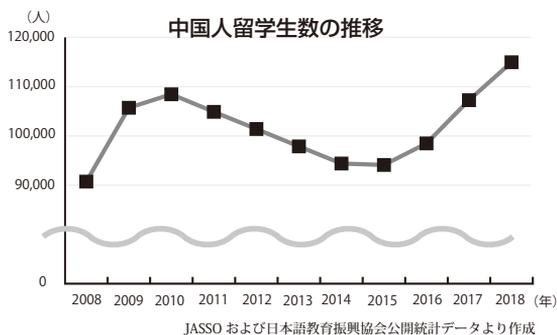
## 目次

	<b>巻頭</b>
2	予備校が支える中国人留学生の日本受験 インタビュー
3	1. アジア人材研究所
11	2. 行知学園
	<b>私の意見私の体験</b>
21	「日本語の高い壁を乗り越えて」 モントリー パタラパナワン ～タイ
	<b>インタビュー</b>
24	留学生さん、教えてください！
	<b>コラム 泰日工業大学奮闘記</b>
27	③② 「就職 ～学生が望む職場とは」 水谷光一
	<b>お礼とご報告</b>
29	新星学寮建替募金
31	知友会通信
32	MEMBERS

<表紙> 中央アジア・ウズベキスタンの首都タシュケントにある有名なオペラハウス「ナボイ劇場」。第2次大戦敗戦後ソ連に抑留された日本兵捕虜457人が建設に携わって1947年10月に完成した。

# 予備校が支える中国人留学生の日本受験

2011年に発生した東日本大震災、領土問題などの影響から、数年にわたり減少を続けていた中国人留学生ですが、2016年から再び増加に転じ、その勢いはまだまだ衰えそうにありません。また、中国人留学生が所属する教育機関を見ると、日本語教育機関に通う学生は2割台と少なく、大多数が大学や大学院、専門学校などの高等教育機関に進学し学んでいます。中国人留学生は労働目的の偽装留学生が多いと言われた時代は遠い過去となり、今や日本の有名大学に入学しエリートを目指す中国の若者が年々増加しているのです。そしてその成功率を押し上げているのが中国人のための進学塾（予備校）の存在です。特に日本語学校の集まる新宿区界隈には同業の進学予備校が10校近く存在し、まさに群雄割拠状態にあると言えます。こうした予備校は、今や中国人留学生の間では認知度が高く日本語学校とのダブルスクールとして人気が高まっています。中国人留学生は高いお金を払い、こうした予備校に通い、少しでも上の大学を目指しているのです。そこで今回は、タイプの異なる二つの学校にお邪魔し、学校設立の経緯や現状、留学生たちが日本で目指すゴールについてうかがいました。



日本の予備校がしのぎを削る高田馬場（新宿区）だが、駅名の隣、そしてその背後にも中国人予備校の巨大な看板が見える



日本の有名予備校も肩身が狭そうだ



駅のホームからも大きな看板が目に入る

Case.1

## アジア人材研究所 (中国人大学進学塾)



中国の大学を卒業後、1995年に来日した曹海石氏は大学院在学中に有名大学合格を目指す中国人学生を家庭教師として指導し、合格させます。これをきっかけに、その後も口コミで希望者が続き、中国から来日する留学生の大学・大学院受験教育、日本の一流大学を目指す中国人留学生の受験勉強の手助けをする世界に入りました。その後、大学院修了後就職をせず進学塾を起業し、これまで1,200人近い中国人留学生を日本の一流大学の大学院へ進学させてきました。この業界の草分けでもあるアジア人材研究所(池袋)理事長の曹海石氏に、同研究所のこれまでの実績や中国人学生が日本の大学院を目指す理由などについてお話をうかがいました。

### 家庭教師から塾設立へ

—— この事業を始めたきっかけを教えてくださいいただけますか。

今から18年位前、私が大学院生のとき、私が学んだ日本語学校(東京リバーサイド学園)から声を掛けられ、進路指導や事務の仕事のアルバイトをしていました。そのときある中国の学生の親から、娘を早稲田に入れたいのだが誰か個人レッスンをして

くれる先生はいないか、と問い合わせがあったんです。中国の官僚の娘さんでしたが、それで私は、自分にぜひやらせて欲しいと言いました。当時は私も私費留学生で生活費に困っていたから、とにかくお金も欲しかったんですね。それでそのレッスン料を60万円ほどで交渉し、もし娘さんが受からなかったら半分は返金しますという契約書を作ったんです。親は「それはいいですわね」と安心してくれたので、彼女の指



曹海石氏

導を始めました。私は絶対に返金はしたくなかったので、必死に教えました。

そして教え始めて半年後、彼女は希望通り早稲田大学の政治経済学部に入ったんです。本当に嬉しかったですね。そうしたら彼女のルームメイトで大連外国語大学の日本語学科出身の人だったのですが、私にも教えて欲しいと来たんです。それで彼女にも教えたら、今度は東京大学に合格してしまいました。早稲田、東大と立て続けに合格させたということが口コミで広がって、その後リバーサイド学園の学生だけでも毎年20人以上の面倒を見ることになってしまいました。

最初はコーヒーショップが教室でした。家庭教師ということで、まだ塾という発想

がなかったんです。とにかく私自身「良かった、これで収入が確保でき、日本で大学院生を続けられる」というのが本音でした。そうやって続けているうちに、学生が毎年増えていったため、場所を確保して塾の形をとるようになったんです。

塾を始めたのは2001年ですが、法人として登記をしたのは7年前の2012年です。私が塾を始めた当時は、同業の中国人向けの塾はもう一つ、王立学院というのがあっただけでした。

現在、池袋にあるアジア人材研究所では、大学院受験生を中心に少人数授業、個別指導でこれまでの経験と年々の入試分析等に基づき各大学毎、実践に即した指導を行っています。また、その他にも、いくつかの日本語学校と提携して、出向いて特別講義をするなどもしています。

—— 大学進学塾の名前が「アジア人材研究所」というのはどうしてですか。

実は、私は村山元総理大臣とご縁をいただいてまして、その村山さんに学校の名前についてご相談をしたおり、単に塾ではなく人材を育成するという意味の、もっと大きい名前がいいというアドバイスをいただきました。私もその通りだなと思ったんです。もう一つ、ほかの塾は大学の学部入学をメインに指導しているのですが、うちは大学院入学希望者の指導にずっと力をいれてきましたので、そういったこともあり、研究する人材を育てるという意味で人材研究所という名前にしたんです。

—— 村山元総理とはどのようなお知り合いなのでしょうか。

私が学生時代に勝手に手紙を書いて出したんです（笑）。村山談話<sup>※</sup>発表のあとで、村山さんのことが好きになったんです。村山さんは日本の歴代の総理大臣の中で、中国や韓国に対して一番心を込めた談話を発表した人ですから、当時は中韓でもすごく人気があったんですね。正直な話をなさる方で、私は大好きなんです。それで、大分のご自宅まで訪ねて行ってお話しさせていただいたのですが、1時間の約束が3時間になるほど、意気投合させていただきました。

## 口コミで集る生徒たち

—— 最近の合格実績など、ご指導の成果を教えてくださいませんか。

直近の2018年度の在學生は延べ180名ほどで、156人が合格しました。大学院合格者118名、学部合格者38名です。東大が13名、全員大学院です。ほかに京都大、大阪大、一橋大、東北大、東工大、名古屋大、九州大、筑波大、神戸大他上位ランクの国立大学、早稲田、慶応、上智始め上位ランクの私立大学へ入学させています。特に、東京大学大学院の合格率は、中国大学進学予備校では私のところが一番です。ほかの予備校は生徒が多くスケールは大きいのですが、合格率ということになると当然下

ります。ある予備校は1,000人以上の学生がいますが、合格率は7割程度です。しかし、経営という点では私たちよりずっと上です。ただ、そうした所でなかなか成績が伸びない学生もいるので、そうした学生が毎年9月以降になって焦って私のところにマンツーマン指導をして欲しいと来る場合もあります。

私のところは特別な宣伝活動も行っていないません。駅に看板も出していませんが、皆さん口コミで来てくれます。中国人は猜疑心が強くてよく人を疑います。だからあまり大っぴらに宣伝しても疑われるし、消極的すぎてもダメということで、広報活動は難しいところです。そうした中で一番信用できるのは友達、知り合いからの情報、口コミなんです。

それに、やはり日本留学で日本語学校と予備校とダブルスクールになるので、それらにお金を支払える層の子弟が私のところにも来るわけです。特に2000年以降、中国もお金持ちが増え、また、一人っ子ということもあり、いくらお金を出してもよいので一流の大学に入れたいという親が多くなっています。学歴社会の中国なので、大学の良し悪しは一生付き纏うので、そのためであればお金に糸目をつけないんですね。

—— 中国では日本の大学の知名度はどのような状況ですか。

（※）村山談話…… 戦後50年となる1995年8月15日に当時の村山富市首相が発表した談話。日本が第二次大戦中にアジア諸国で侵略や植民地支配を行ったことを認め、公式に謝罪した。



教え子や関係者たちとの交流の歴史

少し学歴がある人なら、東大、早稲田、慶応、京都、大阪くらいは知っています。中でも中国で一番知名度が高いのは早稲田なんですね。親によっては早稲田でないとお金は出さないという人もいて、一度六大学の一つに入学したのに、受験し直して早稲田に入ったという学生もいます。

また、最近の日本留学の成功体験は、中国では微博（Weibo）などのSNSを通じて広がっています。実は最近まで私自身知らなかったのですが、Weiboでは私のフォロアーが、いま30万人近くいて、学生がこの進学塾の情報を流すとそれをまた誰かが拡散するという形でどんどん広がっているんですね。こうしたSNSでも日本の大学の知名度はわかるのではないかと思います。

### 一流企業へは一流大学から

—— こちらでは大学院入学指導が中心ですが、近年、中国からの大学院志望者が

増加している主な理由は何なのでしょう。

中国は人口も多く競争社会です。中国国内でも大学卒業は今や特別ではなくなってきています。従って、一つは中国で有名な大学、優秀な大学を卒業できなかったということがあります。それに加えて今、中国は就職率がとても低いんです。また、たとえ就職できても経済面で自立

ができないという現実があります。中国の一流大学を卒業した地方出身の学生が、北京、上海の企業に就職できたとしても、家賃を払い、生活費を払い、一人暮らしをするには給料だけでは足りません。今の北京、上海の生活費は東京とほぼ同じです。それなら日本に行ってもっと良い企業に入り、もっと良い給与をもらったほうがいいわけです。そのためには、日本ではまず一流大学を卒業しないと、一流企業に入れません。そこで、まず中国の大学卒業者は来日後、一流大学の大学院を目指すんです。

ここのある学生Aさんは有名な同済大学（上海）の機械工学科を卒業して、イタリアへ留学して修士を取って帰国し、上海のドイツ系大手企業に入社し、副部長にまでなりました。しかし忙しい上に給与が低いからという理由で会社を辞めて来日し、ここで学んでこの春慶応のMBAコースに入学しました。またBさんは何万倍という競争率を勝ち抜いて入行した中国の中央銀行を

辞めて、今ここに来て勉強をしています。

—— 大学院に行く人は、来日前に大学や専門を決めて来ますか？

決めて来る人が三分の一で、決めて来ない人が二分の二です。大学を卒業した人も三分の二くらいは、自分が大学院で何を勉強したらいいかと相談しに来ます。その時私ははっきりと聞くんです。「君は一流大学の名前を目指すのか、好きな専門分野を目指すのか」と。すると、一流大学を目指すという学生が多いんです。だから「それでいいじゃないか、日本でいい会社に就職できるんだから」と言ってるんです。日本で一流大学に入り、一流日本企業、有名外資系企業に入りたいという人が多いんです。

—— 学部生で、こちらでよりランクの高い大学院を目指す学生もいますね。

留学生も就職は引く手あまたと言われているんですが、実際大企業に入るのは難しいのが現状です。やはり、一流大学を卒業していないと簡単ではないんです。日本で大学を卒業していればもちろん中小企業には入れますが、留学生も一流企業に入って良い給料をもらいたいわけですね。一般的に中国人は完全に学歴主義なんです。ですから、日本語学校の日本人の先生方の考え方と、実際の中国人の進学や就職のニーズにはギャップがあります。日本人は学部で就職先が決

まるようなところがありますが、外国人の場合は学校の名前で決まる。一流かそうでないかです。従って、大学院を一流を目指してくる学部生もいるわけです。

東京郊外にある大学で博士号をとった学生が、ある会社の面接をした時に屈辱的な扱いを受けたと言っていました。2人の面接官は履歴書の大学名を見て、「聞いたことある？」って顔を見合わせたそうです。学生はそれを見てとても恥ずかしく、これじゃあ博士までとったけど意味がないとショックを受けたそうです。

実は、その学生は何年前に私のところに問合せをしてきてました。その時、私は「入るのなら一流大学でないと意味がない」とアドバイスしました。でも当時はその言葉の本当の意味が彼女には解らなかったんですね。今、就職するにあたって世の中の現実直面して、大変辛い思いをしてようやく当時の私のことばが理解できたようです。今改めてここでもう一度一流大学を目指して勉強しています。



壁には各大学の合格者名がずらりと並び

また、日本企業には見えない人脈、学閥というのがありますね。卒業生が同じ大学の後輩であれば、もうどこの国籍でも関係ない。なるべく後輩をとったほうが意思疎通がスムーズで飲み会の席も楽しめるということもあるのでしょうか（笑）。

## 合格に導く指導態勢と今後

—— 最近美術系大学院に進む学生さんの指導もされているようですね。

ある学生から漫画学科に入りたいから教えて欲しいと言われた時、私は専門ではないから難しいと答えたんです。でも彼女が持ってきた過去問題を見たら社会学とメディアの問題で、これなら教えられると思ったんですね。ほかにポートフォリオ(作品集)は自分で準備してきてますから、必要なところを日本語に直してあげました。結果、第一志望の武蔵野美術大学に受かったんです。それ以降、口コミもあり美術系希望の学生さんの指導も行っています。合格者の研究計画書なども残してあって、あとに続く学生に役立ててもらっています。子供のころからの日本のアニメや漫画の影響もあり、こうした分野の留学生も増えています。

—— 大学進学塾は通常日本語学校とのダブルスクールになっていると思いますが、大学院受験希望者もやはり日本語学校生ですか。

そうです。大学院受験希望者も日本語学校に行っている人がほとんどです。中国人

の進学塾・予備校は日本語学校とダブルスクールになるケースがほとんどなので、中国人の多い日本語学校に近い方が学生も通いやすいので、都内の日本語学校の学生がほとんどです。まれに他県の日本語学校から来る学生もいます。千葉から往復で6時間かけて来ている学生もいますし、先週は北海道の日本語学校から学生2人が飛行機に乗って訪ねて来ました。遠方に住んでいる学生の場合は、基本インターネットを使って教えますが、肝心の大学院に提出する研究計画書の作成指導などには、2～3回こちらに来てもらっています。

最近中国で、SNSでこちらのことを知り、日本留学前に連絡をしてきて入学を希望する学生がいます。同時に日本語学校についても聞かれますので、日本語学校についてはその都度紹介していますが、どこでもというわけではなく、こちらと関係のある所を紹介しています。ただし、学校からコミッションなどはいただいていません。

—— 曹先生以外の講師はどのようにされていますか。

講師は私が所属している学会で知り合っただけだったり、大学の先生に優秀な学生さんをご紹介していただいたりすることもあります。多くは私の元教え子です。ですから私が直接指導をしなくても、みな私の指導方法を実践して教えています。

なお、ここの方針として、大学院進学希望者には最低2人の博士課程在籍者、または博士号(学位)を持っている先生を付け

ることになっています。2人以上というのは、いろいろな先生の良いところや考え方を学んでもらうためです。また先生方はそれぞれの専門分野に精通していますから、論文や過去問題の練習をする時、知識やノウハウという面で一般の講師に教わるのとはまったく違います。

ここは秋にほかの予備校からの転校生が多いんです。なぜかというとその時期は研究計画書作成が一番大切になってくる時期だからです。そして、次に過去問題の練習ですね。そういった指導は修士課程の先生には難しいんです。自分の専門分野ならまだいいのですが、少しでも分野が違ってくると適切な指導ができなくなります。こうした専門の先生方がいるので大学院入試にあたってはここはより優れているんですね。それで、合格率がほかの予備校と差がでるわけです。

—— 最近、特に印象に残った学生が居たら教えてください。

一昨年の3月末に来日したある日本語学校の学生で、日本語のレベルはほとんどゼロでした。彼女は上海外語大のスペイン語科出身で、アイドルの嵐（あらし）が好きで日本に興味を持ち、Weiboで情報を集めた結果、自分も東大に入って経営学を勉強したいとここに来ました。そこで3月に来日して早々、7月のJLPT（日本語能力試験）を申し込んでもらったのですが、私は彼女にN1を申し込むように伝えました。すると彼女



は「先生、それはおかしいんじゃないですか?」と言ったんです。受かるわけがないじゃないかと。だから私は「来て早々東大に受かりたいと言っている君のほうがおかしいでしょ?」と返したんです（笑）。そして、「では2人で狂ったように勉強しましょう」と言って、3か月半くらい必死にやりました。その結果、156点という高い点数でN1に合格したんです。正直2人とも本当にびっくりしましたね（笑）。彼女は、その後東大の大学院にも受かっています。

教え方のテクニックがあるんです。頼まれて時々日本語学校で模擬授業をするんですが、終わると日本語の先生がやってきて、「曹先生、これ全部教えたらうちの学校は潰れちゃうよ」と言われます（笑）。

—— アジア人材研究所の今後の展望をお聞かせください。

私自身留学生で大学院生時代にこの仕事を始めたので、日本で会社勤めはしていませんが、今はもうこの仕事が天職だと思っ

ています。学生との真剣勝負なのでもちろん疲れますが、学生と向き合って成果を出し、喜びを分かち合うという作業は、精神的にも本当に楽しいことです。経営もしなければならず大変忙しいですが、現場で教えることはずっと続けてゆきたいと思っています。

人口が多く競争の激しい中国から距離的にも近く、安全で生活しやすい日本に、留学、就職を希望してくる中国人は、今後も決して減ることはないと思っています。中国は一人っ子が多いので、豊かになれば教育にお金を使います。これからはますます一流大学、一流企業を目指す中国人は増えると思いますので、さらに経験を積み上げ、充実させて良い結果を残してゆけば、短期間で成果をあげられる進学塾の需要はますます増えると思っています。ニーズは確実にもっと高まると思っています。

—— 曹先生、お忙しい中長時間ありがとうございました。ここは全講師が中国人の元・現留学生で、皆さん日本の大学の受験経験者ですね。そして、研究所が毎年の各大学の受験の分析もして、短期間の指導で学生を希望の一流大学に入学させる。確かに教育ビジネスですが、ボランティア精神で進学指導を行い、学生の潜在力を引出し、多数の学生を一流大学へ合格させてきた。ここで一緒に頑張った学生の今後の人生が本当に変わるお仕事でもあることを実感いたしました。

こうした進学塾の実態を知り今後受講を希望する学生は増えるものと思いますが、これからも優秀な人材を発掘する第一歩として、よいお仕事を続けてゆかれることを願っています。

## アジア人材研究所

エリート社会への第一歩、人生転換のステージ、成功の近道はココに！

—外国人留学生向けの大学・大学院進学塾—

東京都豊島区西池袋 3-29-3 梅本ビル内

<http://www.kingjinzai.com/aboutus.html>

電話● 03-6912-5393

携帯● 080-6671-6688 (SOFTBANK)

090-8890-3516 (DOCOMO)

チャット● QQ 768042790

WeChat caohaiishi2013



Case.2

## 行知学園 (COACH ACADEMY)



行知学園は都内5か所と関西2か所に教室を有し、年間の受講生が4,000人を超える日本最大の中国人向け予備校です。2008年に大学1年生だった中国人留学生仲間3人が創業した同社は、わずか10年で急成長を遂げました。なぜ行知学園は成長を続けているのか。なぜ中国人留学生は日本の有名大学を目指すのか。そして彼らを合格へと導く行知学園の取組みは？ 同校の創業メンバーで取締役の陸洋（Lu Yang）氏に行知学園の取組みについてうかがいました。

### 日本を目指す中国人留学生の動向

—— 日本に来る中国人留学生の動向および傾向についてどのようにお考えですか。

今、中国から日本に留学する学生は増加傾向にあります。2011年以降、震災や領土問題を発端とする日中関係の悪化などでしばらく減少していましたが、今また徐々に回復してきている状態です。

その要因として、第一に、中国人留学生の多いアメリカやカナダ、オーストラリアと中国の関係があまり良くないことやヨー

ロッパのテロ不安があります。そういった中で、日本が留学先として良い選択肢になってきているということがあります。

第二に、日本に旅行に来る中国人が増加した結果、日本の素晴らしさを認識する人が増え、日本に留学したいと考える子供たちが増えてきているということです。

第三は、中国の厳しい受験戦争によるもので、毎年日本のセンター試験にあたる高考（ガオカオ）は1千万人ほどが受験しますが、上位の大学に合格するのは、年々厳しくなっています。そこで、同じ努力をす



陸洋氏

るのなら日本でもっといい大学に入ってやろうという考えを持つ学生が増えてきているということです。

また最近の傾向として、美術を専攻する人が増えてきています。これもいくつか理由があって、一つは日本のアニメに興味を持っている学生が多いということ。もともとそういう学生は日本に来て、文系、理系の学部に入っていたわけですが、最近はお母さんたちが、好きなら美術でも構わないと認める傾向にあります。もちろん自分から美術大学に進みたいとはっきり決めて来る学生もいます。

次に大学院の場合ですが、中国で有名大学の文系、理系学部への進学は競争率が非常に高くなっています。一方で、美術はある程度競争率が低いということで、

もともと美術に多少なりとも興味があり、デッサンの勉強くらいはやったことがあるという子たちが、美術系の大学に進学するケースが増えています。そういった学生が学部を終えたあとの進学先として、日本の大学院を選択するというケースが増えています。もちろん、中国の美術系大学学部の競争率も激しくなっていますから、一部の学生は学部の頃から日本留学を目指しています。

—— 中国人の留学先として、日本は何番目くらいにいるのでしょうか。また、英語圏ではないという理由以外で、日本が上位にいけない理由があるとしたら何でしょう。

今、留学先としての順位は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、ドイツ、日本という順番だと思います。他国と比べると、日本は入国審査がけっこう厳しいですね。他国は留学生についてはビジネスとして割り切っていますが、日本は原則優秀な学生しか歓迎しないという雰囲気があります。また、他国の大学は中国でその国の大学に申請して入学許可をもらい、それから現地に行くという感じですが、日本の場合は来日してから試験を受けて大学に入るというのが基本ですね。だから親御さんにしたらけっこう不安なわけです。日本語学校に入り1年日本にいて、もしどこにも合格しなかったらどうしようと考えてしまうんです。

—— 日本の大学を出て中国で就職する場



新宿本校本館の受付



壁にはり出されたたくさんの合格者名

合、どの程度評価されるのでしょうか？

中国でも東大、早稲田は誰もが知っていますから有利です。ただ私たちはせっかく日本の大学を出たのだから、卒業後は日本で仕事をした方が良く考えています。いま海外留学を終えた中国人はすぐ国に戻る傾向があります。その場合は新卒になるわけですが、中国企業は経験重視、即戦力になる人が人気がありますから、たとえ海外留学をしても、職歴がないとあまり有利にはなりません。ですから日本である程度仕事をして、何年後かに日本に残るか中国に帰るかを考えた方がいいと学生には言っています。

### 厳しい競争社会を生きる中国の受験生

—— 中国は日本以上に学習塾が盛んだと聞いていますが。

中国は小学校から塾に通っている子供も少なくありませんし、意識の高い親たちは幼稚園から、または生まれて1年以内にザオチャオ（早教）と呼ばれる子供の情操教

育のための塾に通わせているケースも多いです。ですからいま日本に来ている学生は、ほとんどが中国で塾に通っていた経験のある子たちで、日本に来て日本語学校だけで勉強するのでは物足りないと感じている人も多く、塾（予備校）にも行こう、ということだと思います。

—— 貴校の教育方法は中国式ということになるのでしょうか。

やはり中国式ですね。簡単に言うと、詰め込み教育、スパルタ教育といえますか（笑）、練習の量を重視しています。なぜかという、一般に<sup>ガオカオ</sup>高校の前というのは、朝早くから夜遅くまで高校で勉強することが普通です。私の出身高校も基本は朝7時、8時から、夜7時まで授業がありました。山東省や河南省などは、もっと遅くまで、夜9時、10時まで学校にいて、帰宅してまた深夜2時、3時まで勉強する人もいます。さらに土日は塾に通うとか、学校の先生にアルバイトで家庭教師をしてもらっている人もいます。



美大を目指す学生のための行知美術



アトリエも充実。講師の作品展示会やデッサン教室など、地域の人向けのイベントも行われる

——省によって学校の学習時間が異なるのでしょうか。

それは、<sup>ガオカオ</sup> 高考に格差が設けられているからで、北京の人は北京大学に入りやすいのですが、河南省や山東省の人は結構難しい。省によって問題が違い、河南省とか山東省、そして私の出身地である江蘇省は特に問題が難しいので、その分勉強時間を増やさないといけないというわけです。

——まさに勉強漬けとなるわけですね。

一方、日本に来るとそうした毎日の生活が一気に楽になるんです。朝9時から12時、あるいは午後1時から4時だけ日本語学校で勉強するのは、親御さんはかなり不安に感じます。自発的に勉強しない学生は日本語学校が終わったら遊んでしまう。4～5年前まではアルバイトに行く学生も多かったのですが、最近は裕福になってあまりバイトもしていません。それで何をするかというと、ゲームばかりして過ごすわけです。それを親御さんは心配しており、そ

れなら予備校に行かせようとなる。それで午前の学生は12時まで日本語学校で勉強して、午後2時から9時までは予備校で勉強する。そうすると親も安心ですし、学生も中国で<sup>ガオカオ</sup> 高考の準備をしていた時のような感じで留学生活を送れるわけです。

### さらに上の大学を目指すための指導

—— 学生は日本に来る前から目標とする大学を決めて来ていますか。

そういう学生も一部いますが、ここに入ってきてから、自分のレベルだとどの大学に行けばいいのか、日本にはどんな大学があるのか、どの専攻を選んだらいいのか、といった質問を持って入校してくる学生も少なくありません。みんな出来るだけ良い大学に行きたいというのは同じです。ただ全体で見ると明確な目標を持っていない学生のほうが多いですね。

—— 受験校について、日本語学校の先生

の判断と予備校の先生の判断が異なるケースはあると思いますが。

日本語学校と予備校というのは競争の関係にはありません。日本語学校の先生は安定的、安全第一で進学先を選びます。もし全ての大学に落ちたら、ビザがなくなって日本に残れませんから日本語学校の先生はまず安全な学校を勧め、それに加えて、もっといい大学にチャレンジしてもいいですよという考え方です。ただ、その場合はチャレンジしたい学生には物足りないわけです。ですから予備校はさらにいい大学にどうしたら入れるチャンスがあるかを考えます。例えば数学の良くない学生がいたら、早稲田は難しいと思われれます。ただ、実際に早稲田の文系は、ほとんど数学は必要ありません。EJU（日本留学試験）は日本語の評価だけ、あるいはJLPT（日本語能力試験）でN1、N2を持っていれば二次試験への参加資格があります。二次試験も文学部などは日本語または小論文、面接ですね。そうすると、日本語力をさらに伸ばせば合格の可能性がりますよという指導を私たちは行います。

また、日本語力がそこまで付いていない学生については、日本語よりも数学を重視している学部、小論文と数学のうち一つを選択すればよいといった学部を紹介します。また、問題を解くのは得意ではないけれど、発表力とか表現力、対話力に優れる学生には面接を重視する大学を勧めています。

もちろん、絶対に合格できるということではなくて、そういった方法で合格実績が

出ているわけです。私たちは毎年の進学の記録を残しており、これまでの10年間で、このタイプの学生はどんな大学に入ったかといった記録を持っていますから、それを元に指導しています。

—— 学生たちはどんなスケジュールで学校に来ているケースが多いのでしょうか。

コースがいろいろあり、コマ単位で受講している学生もいます。また全てをフォローするコースの学生は日本語学校以外の時間を全て予備校で過ごしています。例えば去年東大に入った学生は朝9時から12時まで日本語学校、午後2時から5時はここでEJU対策、夜6時から9時までは進学に専念したクラスを受講し、帰宅してから朝3時までには自宅で勉強し、4時から8時までには睡眠という生活をしていました。土日は図書館で本を読んだり、グループで集って勉強したりする学生もいます。

—— 授業は全て中国語ですか。

文系、理系については中国語で教えます。美術は日本人講師が多いので日本語での授業が中心です。より深く理解してもらうために授業は中国語で教えますが、問題については本番の試験も日本語だけですから、実際に日本語で読んで解いた方が良いと言うことで、教科書はほとんど日本語で書かれています。私たちが出版している問題集なども完全に日本語ですね。

—— 一クラスは何人ほどで授業を行って



行知学園が発行する問題集。全て日本語で書かれているため、他国の留学生も利用できる

いるのでしょうか。

大学院は20～25名、学部は30～35名です。ほかに少ないですがプライベートレッスンも行っています。

—— 学部と大学院、希望学生の割合はどのようですか。

2018年の学生3,060名のうち、約2,000名は学部進学で、約1,000名は大学院進学希望者です。ただ、大学院希望者の割合は毎年増えてきています。今の中国は大学進学率が高いので、企業が学生を採用する際は学歴を重視します。そうすると学部卒よりも大学院卒の方が有利になります。その結果大学院進学希望者が増えているわけですが、そのため中国の大学院入学は競争率が高くなっています。

—— 日本に来る時点での日本語力についてまったく学習経験のない人も多いのでしょうか。

大学院の場合ですが、中国はもともと日本語専攻の学生が多く、そうした学生が日

本で経済学とか経営学で大学院に進学するケースは多いです。また中国の大学で日本とは無関係の専攻でも、日本語に興味を持って勉強し、N1、N2をとって来日する学生もいます。一部の学生はあまり日本語を勉強していない状態で来ていますが、大学院受験を目指す学生の場合は全体的に日本語力が高い人が多いです。一方で英語入試前提の学生も

増えてきています。彼らの中には元々欧米留学を考えていたけれど、日本に変えたという人が少なくありません。

学部進学希望者の場合は日本語についてはそこまで高いレベルにはなく、N3、N4レベルで、ある程度日本語学習の経験があるという学生がほとんどです。反面、中国は外国語教育を重視した高校も多く、中高6年間日本語を勉強して来ている学生もいます。

## 先生への投資で学生を呼び込む

—— 貴校の日本語学校（行知学園日本語学校、行知学園第二付属日本語学校）と予備校の関係はどのようになっているのでしょうか。

日本語学校については予備校とセットで募集をしています。ただし誰でも入れるのではなく、日本語能力やTOEFL、高考（ガオカオ）の成績を見て優秀な学生だけを入れています。ですから、当学園の日本語学校については、マーチ（MARCH= 明治、

青山学院、立教、中央、法政)以上の大学に合格する割合は8割以上となっています。大学院進学希望者も中国のトップ大学卒であること、日本語能力とTOEFLの3点で優秀な学生を受入れています。

他の提携を結んでいる日本語学校については、その学校と当予備校をセットにして申込みことができます。ただし、全体として一番多いのは、他の日本語学校に入ってからいろいろな予備校を見学してみて、当校に入学するというパターンですね。

—— 授業見学で、貴校の魅力が伝わるわけですね。

そうですね。ですから、私たちは先生の教育を厳しくおこなっています。先生は問題の解き方を教えるだけでなく、どうすればより理解しやすく伝えられるか、そのための訓練も厳しくやっています。つまり授業は淡々とするのではなく、少し面白さも入れないと、学生、特に勉強が好きではない学生は興味を持ってなくなってしまい、落ちこぼれてしまう可能性があります。どう効率的に内容を面白く、解りやすく伝えるか。先生にはそのための訓練をしています。学生は授業を見学して、行知学園の先生がいいと思って入学してくれる。そして彼らは、インターネットで「行知学園はいいよ」という評価を広げてくれるわけです。

—— 先生への投資は最重要ということですね。

今の大手中国人向け予備校には2パターンがあります。一つは私たちのように良い先生を育てるために研修などにお金を投資するタイプ、もう一つは同じお金を中国の仲介業者に払い、多くの学生を現地で集めるタイプです。当然業者は契約のない行知学園はあまり勧めてくれませんが、実際学生が日本に来て学校を見学してみると、行知学園が一番良いということで、口コミで学生が集まるわけです。

—— では、先生の評価も時々されているのでしょうか。

もちろん行っています。学生の満足度、成績、模試および本試験の結果など、いろいろなところを見ています。その結果、途中で辞めていただく先生もいます。中には授業は良いけど人格や考え方が特殊な先生もいて、学校の方針、学校が作ったプランを守らないような先生については私たちが指導して、変わらなければ辞めてもらうしかありません。



新宿本校3号館



一つの通りだけでもいくつもの教室があるため、案内看板は必須

—— では先生を含めたスタッフの数はどのくらいでしょうか。

社員は事務スタッフも含めて120名ほどです。さらにアルバイトを含めると400名近くになります。そのうち日本人スタッフは1/3ほどです。

今、日本にはたくさんの中国人向けの塾、予備校がありますが、行知学園は唯一、社員の教師をメインにしている学校です。基本的に教壇に立っている先生は社員です。ほかにアルバイト、非常勤の先生も多く在籍しています。なぜかという、専門分野について教える先生は社員ですが、その他のフォローをする先生も相当数必要になるからです。具体的には社員である教師の講義終了後、問題を学生に解いてもらい、それが正しいかどうかをフォローする先生はアルバイトになります。また、同じ経営学部でもどの大学に行くかといった相談はティーチング・アシスタント (TA) が担当するといった具合です。そのほか心の悩み相談など、様々な面からのフォローで進学までを支えており、私たちはそういったチー

ムワークを重視しています。

## 学生募集から就職まで 幅広い支援事業を展開

—— 就職支援もされているそうですが、卒業生が対象ですか。

そうした制限はありません。私たちは企業と協力して就職イベントや求人代行などをしていますので、そうした場で登録してもらった外部の学生も対象になります。毎年日本に来る中国人留学生は2万人ほどで、そのうち行知学園に入る学生はおよそ3,000人です。つまり私たちは優秀な学生のデータを持っているわけです。彼らは大学卒業後就職しますから、その彼らと企業を結ぶ良いサービスを提供できればと考えています。さらに卒業を控えた学生の中には、就職について相談に来てくれる者もいますから、こういった就職支援サービスを提供しています。

—— 中国国内で留学コンサルタント事業も行っているようですが、どのように展開しているのでしょうか。

上海に中国事務所があり、そこが大学生の多い大都市、上海、武漢、西安、天津、長沙の五カ所で、日本留学の宣伝、留学セミナー、日本語学校の紹介などの留学支援事業を行っています。開催都市についてはこれから増やして行く予定です。

普通の仲介業者さんというのは学生を日本に送ったら仕事は終わり、業者の中に

は、日本では簡単に学校に入れる、生活の問題は何もないなどと説明して、渡日後の責任を持たないところもあります。一方、私たちは日本に留学する学生に、これからの1～2年間、どう過ごしたらいいかを伝えています。勉強と余暇の割合はどのくらいがいいか、各自の年間スケジュールまで計画して学生に提案しています。それがうちの中国事務所の役割です。中国事務所の責任者や社員はほとんどが日本留学経験者ですから、学生たちの細かい相談にも適切に答えられるわけです。

——上海に作られた中日文化センターについて教えていただけますか。

中国に暮らしていて日本旅行の経験もない人は、日本はどんな国なのか、あるいは日本の生活や文化はどうかということはありません。ですから、日本文化の代表的なものや、映像、写真などを展示場のように置いて、学生がその場所に行くと日本のいろいろなものに触れることが出来る。文化センターは、日本はこんな感じなんだと実感できる場所を目指して作りました。ここには日本の様々な本と一緒に私たちの出版物、大学のパンフレットなども置いてありますから、そこで日本体験ができると同時に、日本留学の宣伝の場にもなっています。

## ライバルは欧米留学

—— これからの目標や夢があれば教えて

いただけますか。

私たちは中国の若者に日本留学の魅力をもっと伝えたいと考えています。欧米やオーストラリアの大学の授業料は高く、その国の学生の2倍、3倍以上の費用がかかることもあります。一方で日本の学費は日本人学生と同じで、しかも留学生のための減免制度や奨学金制度などもありますから、日本は留学生に対して本当に優しい国なんです。ですから、そういった日本のいいところ、日本の大学の良さなどを中国の若者に伝えていきたいと思っています。

また、もう一つの夢は日本と中国の関係を良くすることです。中国の優秀な学生が日本の大学で学び、政府機関に入るなどしていけば、日本との良い関係が築けるはずですね。そういう人材を数多く輩出したい。いま私たちは中国の十数都市で講演や説明会を行っています。そこでは日本という国の良さ、大学の良さをアピールしています。

—— それはまさに日本人がやらなければいけないことでもありますね。

私たちのライバルは日本国内の他の予備校や日本語学校ではありません。欧米留学なんです。日本に留学する人が多ければ、全ての予備校、日本語学校にとって素晴らしいことですね。ですから、アメリカに留学したい学生を日本に引っ張ってくるというのが、私たちの仕事です。

—— 陸先生ご自身はどのような経緯で行知学園のお仕事についたのでしょうか。

行知学園は、2008年に大学の経済学部に入ってすぐ受験仲間2人と作りましたから、今年11年目ですね。きっかけは学部時代の夏休み、母校である淑徳日本語学校（東京・板橋）で授業をしていたのですが、外の学生からも教えて欲しいという問合せが来るようになったんです。それで自分で貸し会議室を借りて教え始めたところ、どんどん学生が増えて行ったという感じです。

その後2012年の大学卒業後、社長は東大の大学院に入り、もう一人は中国に戻り上海事務所を作りました。いま彼は中国の統括をしています。一方で私はベネッセコーポレーションに入社しました。当時会社で唯一の留学生だったのですが、やはり私はもっと日中関係に関わる仕事がしたいと思い、1年で退職して行知学園に戻ったんです。

——— これから日本に来る中国人留学生数はどうなっていくとお考えですか。

中国人留学生は絶対に減りません。これから、今の倍になるかどうかという考えですね。また、これからも学部を目指す留学生は日本語学校経由で入学する者が大多数だと思います。大学院は直接入学も増えるとは思いますが、日本の大学院の試験問題

と中国の学部4年間で教わる内容は異なることが多いので、やはりいったん来日して、私たちのような予備校で勉強した方が効率的だと思います。もともと自分で勉強したら2年かかるところ、予備校に入れば1年で合格できる。それは学生にも親御さんにも魅力的であるはずですよ。

——— 長時間貴重なお話をありがとうございました。3名の留学生仲間で立ち上げた進学予備校ですが、今や日本（東京、大阪、京都）と中国（5か所）に拠点を置きスケールの大きな教育事業を展開しているんですね。本当に驚きました。しかも綿密にプログラミングされている。進学予備校、日本語学校、留学コンサルタント、出版、就活支援他、様々な事業を手掛けている。また、上海に中日文化センターを自前で作り、日本留学に一役買っている。更に、留学生から日中両国のパイプ役になれる人材が育つことを願っているとのことに関心致しました。社名の「行知学園」は、「留学という長い旅をしてできる家族」；日本に「行って」様々な人、知識を「知る」という意味だということですね。貴社の今後のさらなる展開を楽しみにしています。

## 行知学園 COACH ACADEMY

東京都新宿区百人町2-8-15 ダヴィンチ北新宿3・4階

TEL : 03-5937-6597 FAX : 03-5937-6598

URL (日本語) <http://www.coach-ac.co.jp> (中国語) <http://www.koyo-coach.com>

# 日本語の高い壁を乗り越えて

## モントリー パタラパナワン

(Montri Pattarapanawan) ~タイ

東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医解剖学研究室 (博士課程)



子供の頃、獣医さんが行う犬の去勢・避妊手術を手伝ったことが、獣医師という仕事に興味を持ったきっかけでした。そして、徐々に自分も獣医になりたいという気持ちを持つようになり、大学はカセサート大学（バンコク）の獣医学部に進学しました。獣医学部は6年間で、当時は卒業資格として獣医になりました。しかし就職を前に参加した企業でのインターン経験で興味を持った“食の安全”に関わる仕事に就きたいと考え、大学卒業後はベタグロというタイの食品・農業分野の大手企業に就職しました。

仕事は会社が管理する養豚場や養鶏場に赴き、飼育環境は問題ないか、スタッフは決められた手順通りに作業をしているか、餌の種類や量は守られているかといったことをチェックする仕事です。クリニックで1日を費やすのでは

なく、様々な場所に出かけて様々な人や動物と関われるこの仕事は、自分の性格に向けた仕事で不満はありませんでした。でも、やってみたい職業がもう一つあったんです。それが教職の仕事でした。

いつかは先生になりたいと思っていたところ、母校のカセサート大学で募集があり、これに応募しました。そして採用が決まり、2年間務めたベタグロ社を退職し、獣医学部の講師としてカセサート大学に入職しました。

教職の仕事は、想像通りにやり甲斐のあるもので、勉強を通じて学生たちと接する毎日楽しく充実していました。ただこの先大学に残るのなら、さらなる上の学位を取る必要があります、僕は博士号（Ph.D.）を取ることに決めました。どうせ勉強をするのなら新しい発想や研究方法が学べる海外でやりたい。そ

う思い、所属する解剖学科の先生に相談してみたところ、彼は東大の先生＝指導教官を紹介してくれました。実は、先生は日本に留学経験があり、東大でPh.D.を取っていて、帰国後も東大とはずっと交流をもっていたんです。

幸い僕は（日本の）大学推薦枠という形で文部科学省の奨学金をいただけることになり、5年勤めたカセサート大学を休職して、2015年10月から、東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻の博士課程生として日本で学ぶことになりました。

日本に来てみて予想以上に大変だったのは日本語です。僕はタイで3か月間、日本語の勉強をして来ましたが、来日時の日本語力はゼロに近い状態でした。また、ほかの留学プログラムのように、日本語だけを学べる期間はなく、いきなり大学院生としての生



カセサート大学の獣医解剖博物館で、  
見学の高校生を案内



タイ大使館スタッフ、他のタイ人留学生と  
世界遺産の富岡製糸場を見学（左二人目）

活がスタートしましたから当初はかなり戸惑いました。

大学は学生のチューターを付けてくれたのですが、言葉の問題もあり、当初直面する日本での生活面の相談は来日後知り合ったタイ人留学生にしていました。そしてアパートの契約など、どうしても日本語が必要な時だけ、チューターに付き添ってもらいました。とにかくこの時は、日本語ができないと何もできない、研究室でも生活でも困ることばかりでした。

来日して半年は東大の日本語教育センターで午前中3時間日本語を学び、午後から研究室に出るという生活でした。そのおかげで、日常生活にはあまり困らなくなったのですが、研究で使う日本語となると簡単ではありませんでした。

僕の研究室は、留学生は僕

一人で言葉は全て日本語ですから、研究テクニックなどは他の日本人のやり方を見て真似したり、難しいところは研究経験のあるタイ人の友達に相談をして解決しながらの毎日でした。

実は僕の研究室は、先生も他の日本人学生も英語はできるので、僕の論文作成や発表は英語で行っています。でも先生は初めから僕に対して、研究室では日本語でコミュニケーションとってほしいという思いを持たれていましたから、いつも日本語を使うように努力しました。それは日本語の上達には大きくプラスになりましたが、難しい専門用語についてのやり取りも全て日本語ですから、研究生活はやはり大変でした。

僕の日本での研究テーマは Development Biology（発生生

物学）と言って、例えば見た目は正常であるものの、遺伝子が欠けた状態で生まれてきた動物の内臓にはどのような変化があるのか、といったことを研究しています。

僕の日本留学の第一の目的は Ph.D. をとることであり、今の先生のおかげで奨学金もいただけることになりましたから、今、先生の専門であるこの研究テーマでがんばっていますが、実際に取組んで見ると、博士課程における専門的研究は、想像以上に高レベルであり、気力と体力が必要な作業です。やはりその分野を本当に好きで、学びたいと思う情熱があることが、何よりも大切だということに改めて気づかされました。言葉の壁を乗り越えないといけない留学生であれば、それは尚更です。



研究室旅行で教授、同僚と登山（左）

初めての  
スノボ体験  
（白馬）



タイの友人たちと初詣体験（左）



僕は今、卒業論文の作成のために、毎日研究室に朝早くから夜遅くまでいて実験と執筆に没頭しています。そして順調にいけば来年3月には卒業して、タイに帰国しカセサート大学で教職に戻る予定です。

将来学生に日本留学について聞かれたらどう答えるかといえば、もちろんお勧めします（笑）。僕は東大しか経験していませんが、研究室の仲間は優しく、大学の設備や研究のための予算もタイとは比較できない、とても素晴らしいものです。そこではタイでは経験できない高度な研究に取り組めます。

ただし研究テーマについては、先生の論文をよく読んで、自分が本当にやりたいと思える研究をされている先生を留学前に探せるとよいと思います。

また、言語はどうするのか。

研究室によっては留学生が多く、ほとんど日本語を使う必要のないところもあります。東大にはインターナショナルコースもあり、そこでは全てのプログラムが英語で行われます。そうしたコースに自分が研究したいテーマがあれば、それを選択するという方法もあります。でもそうした場合、せっかく日本に留学するのに、日本語は上達しないかもしれません。日本語を話せるようになったのは、僕にとって日本留学の大きな成果の一つだと思っていますから、その点は留学前によく考えたほうがいいでしょう。

日本留学全体を振り返ってみると、日本ではタイではできない色々な経験をさせてもらいました。特にスノボは大好きになり、毎冬、友達とス

キー場に通います。研究室では年2回、合宿旅行に行き、皆で楽しみコミュニケーションをとるのにとっても良かった。日本は交通がとても便利でどこへ行くのも困りませんから、タイの留学生とも色々な所に行きました。

最後に、日本に来て一番驚いたのは赤信号でも道路を渡る人がいたことです。日本人は規則を絶対に破らない民族だと思っていたので、初めて見た時は、驚くと同時に少しホッとして、緊張が解けたような気持ちになったことを今でも思い出します（笑）。

## 留学生さん、教えてください！

**最**近、よく見かけるウズベキスタンからの留学生。2018年度の留学生数は2,132人ということで国別では15位ということですが、5年前の358人からは6倍も増加しています。そこでウズベキスタンの留学生に留学のこと、国のことなどを聞いて見ました。

●学校では何を勉強していますか。

**ファイズィ：** 僕は観光がメインですが、ITも学んでいます。今の観光業ではIT利用が必須ですから。日本語はJLPT（日本語能力試験）でN2に合格しました。

**アキラモフ：** 僕は国際ビジネスが専門で、内容はビジネスコミュニケーションとIT、それにGeneral Englishです。いま言語はウズベク語、ロシア語、トルコ語、日本語ができますが、英語は少々弱いので（笑）。

●出身地のサマルカンドはどんなところですか？

**ファイズィ：** ウズベキスタンの古都で、街全体が世界遺産になっています。大きく美しいモスクや遺跡が数多くあり、欧米や日本からの観光客が大勢来ています。

**アキラモフ：** ウズベキスタンにも日本のように四季がありますが、東京のように湿度は高くなく、夏の気候は北海道のような感じです。

●ウズベキスタンで主に話される言語はなんですか？

**ファイズィ：** 共通語はウズベク語とロシア語ですが、今は学校のロシア語の授業がなくなったので、ロシア語を話せない若い人が増えています。

**アキラモフ：** 20年前はみんなロシア語を話していましたが、今は減って代わりに英語を話せる人が増えています。観光客やビジネスマンな



（左）シャホボフ ファイズィディン（ファイズィ）さん <外国語ビジネス専門学校>

（右）アキラモフ フィルダウス（アキラモフ）さん <専門学校 ISB >

※共にウズベキスタン サマルカンド出身。地元のカレッジ（3年制）で会計学を学んだあと、2015年に揃って来日。日本語学校（サム教育学院）から専門学校へ進学。

ど海外の人と接することが多いので、みな英語を勉強しています。

●ウズベキスタンの若者に人気の留学先はどこですか？

**ファイズィ：** イギリスやドイツに行く人が多いです。アジアでは韓国の人気があります。韓国はITが進んでいるというイメージがあり、IT系を学ぶなら韓国という感じです。

**アキラモフ：** 欧米の場合、アイエルツ（IELTS）で良い成績を取れば学費が安くなったり、無償になったりするので、英語に強い人はそちらを目指します。

●2人はなぜ日本を選んだんですか？

**ファイズィ：** 最初はイギリスに行くことを考えましたが、比べると治安のことなどで日本のほうが安心できると思いました。韓国も候補でしたが北朝鮮がすぐ隣ですし。

**アキラモフ：** インターネットでいろいろな国

の情報を調べていた時、日本留学中のウズベキスタン人が日本生活を紹介する動画をYouTubeに見つけて、日本は教育もしっかりしているし、生活も楽しそうだと思ったんです。ロシアやアメリカに行く人もいますが、銃を持っている人もいて危険なイメージがあります。日本だと家族も安心してくれました。

●サマルカンドには一般の人が日本語を勉強できる施設はありますか？

**アキラモフ：** サマルカンド国立外語大学に日本語学科がありますが、一般の人向けの日本語教室は見たことはありません。

●2人ともイスラム教徒ということで、日本の生活に不安はありませんでしたか？

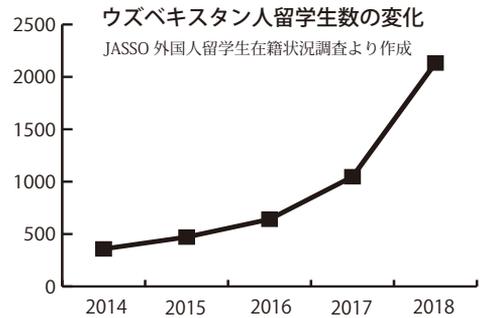
**アキラモフ：** ウズベキスタンはイスラム教徒が多いのですが、国教ではありません。ですから、サウジアラビアなどのように宗教上の規則に対してそこまで厳しくはないんです。戦争中に親を亡くした子どもたちが周辺国から大勢ウズベキスタンに移り住んで来ていて、いろいろな人種、宗教の人がいますから。

**ファイズ：** 様々な文化に寛容なところがありますから宗教についても規則より気持ちが大事という感じです。もちろん日本でも豚肉は食べないなど、必要なことは守っています。

●最近、日本に来るウズベキスタンの留学生が増えていますね。

**ファイズィ：** 学校同士の交流なども増えていますが、一番多いのは口コミだと思います。周りでは誰かが来るとその友達がまた来るという感じで増えています。日本に留学してうまくいっているから「自分も行こう」、「おまえも来いよ」という感じです。

**アキラモフ：** グループで来ていたり、一人で来ていたり、出身地域もバラバラです。ウズベキスタンの大学で日本語を専攻して、日本語学校を経由せず、日本の大学に来ている人もいます。



●最初の留学先である日本語学校はどのように探しましたか。

**アキラモフ：** 勉強する場所を東京に決めてから、ネット検索で学校を探し、それぞれ駅からの近さや年間のスケジュール、歴史や実績などを確認しました。そして利用者の「口コミ」を読んで、先生や授業の評価が高い学校を選びました。

●二人とも専門学校に進学しましたが、大学は考えなかったのですか？

**アキラモフ：** 出来るだけ早く勉強を終えて日本で就職をしたいと思いました。仕事に就くのが遅くなればそれだけ結婚も遅くなってしまいますから(笑)。それで日本語学校の先生に相談したら、大学でも専門学校でも就職はできるから、選ぶのはあなたですよと言われて専門学校を選びました。

**ファイズィ：** 僕は大学への進学も考えましたが、入学時期の関係で日本語学校に予定より長くいましたから、もうあまり学校に行く期間を伸ばしたくありませんでした。専門学校なら大学より早く就職できますから、先生が紹介してくれた今の学校に入りました。

●では長く日本で働きたいと考えていますか？

**アキラモフ：** 将来は父親の貿易会社を手伝う予定ですが、経験を積むためにしばらく日本のサービス業界で働きます。今、大手携帯電話会社系列の販売会社から内定をもらっています。私は人助けのようなことをしている時が楽しい

ので、将来人助けに関われることができれども思っています。

**ファイズィ：** 僕は将来、ウズベキスタンと日本に関わる観光会社を作りたいと思っています。そのためまず日本で観光業界に就職したいと思っています。

●日本での生活で来日前の想像と違ったことはありますか？

**アキラモフ：** 日本人はみな親切というイメージがありました、みんなが優しいわけではありませんね。それに私を見て怖がる人がいたのも悲しかったです。

**ファイズィ：** 僕は結婚していない人が大勢いることにとても驚きました。年配の人で、一度も結婚したことがない人もいて、びっくりしました。ウズベキスタンではある年齢になると親や親類の紹介でお見合いをして、結婚するのが当たり前です。

**アキラモフ：** 会社を定年する頃に離婚する人が増えているという話を先生に聞きましたが、それも驚きました。何十年もずっといっしょに暮らして別れるというのは、ウズベキスタンでは考えられません。

**ファイズィ：** 浮気も日本と違ってウズベキスタンではあまり聞きませんね。

**アキラモフ：** ウズベキスタンでは街の人がほとんど顔見知りなので、浮気はできません。東京だと隣に住んでいる人も知らなかったりしますが、ウズベキスタンではみな地元の学校に通っていますし、一度会うと挨拶をして知り合いになりますから、街の人みんなが知り合いでも不思議ではないんです。

●それは東京では考えられないですね。では日本での生活で大変なことはありますか？

**ファイズィ：** 特別大変に感じることはありませんが、以前病気になった時は大変でした。インフルエンザだったのですが、夜中に熱が凄く上がって、相談できる人もいなかったので、ど

うしたらいいのかパニックになりました。結局救急車を呼びましたが、日本語もまだ十分ではなかったので、本当に不安でした。

**アキラモフ：** 大変なのは、やはり日本人との付き合い方です。私はコンビニでアルバイトをしていましたが、そこで日本人にいじめられて、ケンカになってしまったウズベキスタン人がいました。また、お客さんとスタッフの関係もウズベキスタンとは違います。日本は「お客様は神様」ですから、店員に対して横柄な態度をとるお客さんもいます。お金を投げて寄越したり、品物の名前が聞き取れないと怒り出したりする人もいます。ウズベキスタンでは店員も客も平等なので、そういうことはないですね。だから仕事は簡単でも、日本での接客はとても難しく感じます。

●日本に来て良かったですか？

**ファイズィ：** 良かったです。親から離れて暮らすのは今回が初めてですが、東京は安全なのに刺激がある街で面白いです。日本の観光地もきれいで、いろいろな所に行くのが楽しいです。

**アキラモフ：** 僕は日本に来て初めてスキーを経験して大好きになり、シーズン中は長野や山梨のスキー場に出かけています。東京は静かで緑豊かな場所と便利な都会とが共存していて、生活しやすいです。

●留学生生活を成功させるために大切なことはなんですか？

**ファイズィ：** 知り合いをたくさん作ることで、すね。何か困ったことがあった時、問題に応じて相談できる人がいると心強いと思います。

**アキラモフ：** 色々な国の友人を作ると新しい発見が増えて世界が広がります。ただそのぶん別れが多くなるので寂しいことも増えますけど。最近ラトビア人の友人が帰国してしまい、すごく寂しいなあと感じました。

●ありがとうございました。次のステージでもがんばってください。

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&先生によるリレーエッセイ

# 泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

水谷光一

## ③ 就職 ～学生が望む職場とは～

毎年タイ国内の日系企業や日本国内への就職者が増えている TNI 卒業生であるが、今回は卒業生の立場で、どのような就職先を求めているのかを考えてみたいと思う。

(水谷光一 TNI 学長室専任講師)

まだ詳細に学生にアンケートを取ったわけではないが、断片的であれ学生に就職についていろいろ聞いて見ると、以下のような事情を理解している企業に人気が集まる傾向がある。

### 1. 大学で勉強した専門性が生かせるか

特に専門性が高いコースほどその傾向が出る。勉強した Java 言語をいかしてホームページ作成などをしたい (情報技術コース)。勉強した C 言語を生かして、組み込み OS のプログラムを作りたい (コンピュータ工学コース)。経営学部の学生は日本語をさらに伸ばして応用力がつくような職場を探したい、マーケットの知識が生かせるような職場を探したいという学生が多い。

### 2. 与えられた業務内容が自分にあった仕事かどうか

これは如実に就職動機や転職動機に現れる。「あっている」ということの解釈はさまざまであるが、「自分にあっていない」と感じると、



ジェイテクトに就職した TNI 卒業生

せっかく大企業に就職した学生でもすぐ辞めてしまうようである。この対策として企業は就職説明会や面接などで業務内容について十分説明すること。就職後、オリエンテーションや試験雇用の間によく雇用者と業務について話し合うべきである。

### 3. 自宅から通える範囲か。遠方の場合、滞在のためのコストの補償はあるか

学生は計算高く、たとえば初任給が 25,000

パーツ（約88,000）であっても、職場近くでアパートを借りなければならないとなると、初任給は住居費分でマイナス5,000パーツ（約18,000円）となり、そうであれば、実家から通える範囲で探そうと考える。ただし実際製造業はアマタナコーン、ローチャナなどかなりバンコクから離れている事が多く、ワーカーなどすべての社員に住宅手当を出す事は現実問題として難しく、住宅費を補助している

例はあまり聞かないが工場周辺に寮を提供しているといった話は聞いたことがある。

#### 4. 初任給へのこだわり

学生は給与＝自分の能力への評価、と受け取っているので、あまり定期昇給、ボーナスなどで待遇の良し悪しを評価しない。ひたすら初任給にこだわる傾向にある。タイの労働環境では、ボーナス、昇給などは個人の能力や評価にかかわりなく、景気などに左右され、また保証されたものではない。そのため学生が確定された「給与」のみにこだわるのは分かるような気がする。

#### 5. 就職を決める時期の問題

タイの学生は決まった日までにすべての者が卒業するわけではない。TNIの場合は、毎年2月から3月にかけて期末試験があり、その結果によっては3～5月の補習学期にさらに履修登録をして追加で単位を取ろうとする学生がいたり、TOEICやJLPT（日本語能力試験）を受けた後に就職を探したいと考えている者もあって、日系企業でも4月1日に一



日本でインターンシップに参加する学生と語るバンデット学長

齊に入社式を行う習慣はない。一般的にタイの大学は、3月に試験が終わった後、半年くらいしてから卒業式を行う（TNIの場合今年は11月10日）ののだが、それまでに進路が決まっていればよし、くらいの感覚である。これには在学中は勉強に集中しなければならないほど勉強が厳しいという事情もある。余談だがあまり進路についての調査が進まない理由は、卒業してからインターンシップ期間内にいくつか「就職先のお試し」を繰り返す者、インターンが終わってから人材紹介会社に登録を始める者、JLPTなどの結果が出てから入社面接を受ける者や進路先を決める者が多く、1年後くらいでないとい進路調査ができない（やっても意味がない）からである。

学生は「自分が求められている職場」を捜し求める傾向がある。会社が有名か無名か、大企業か中小企業かはあまり関係無く、むしろ社内の雰囲気や人間関係が重要なようである。自分を大事にしてくれ、自分に成長の機会を与えてくれ、将来の展望を与えてくれる企業を望んでいるといえる。

## お礼とご報告 新星学寮建替え募金

皆様のおかげさまで、募金は目標額を達成し、募金期間を終了いたしました。  
誌面をお借りし、ご協力に感謝申し上げます。

募金目標額：3,000万円

募金期間：2017年9月（6月）～2019年3月31日

寄付金：34,062,520円

\* 2019年4月1日以降の新星学寮に対する寄付金は新星学寮への支援協力金とさせていただきます。

寄付金：1,110,000円

寄付者：田井満里 4月以降：小黒義夫（ご家族）、高橋徹生、張忠信

寄付者：計210名

（あ）秋庭一衛、厚見利子、新井かよ子、新井良文、安藤哲夫、安藤法夫（い）家田文隆、池森亨介、石川清、市村幸男、伊藤順、伊藤源之、稲垣史、井上駿、今西淳子、岩井秀明、岩井秀生、岩尾明（う）上野長一、内田誠、宇戸清治（え）江口義弘（お）大木隆二、大越英男、大島京子、大杉立、大田原康彦・真澄、大野大平、大益牧雄、小川巖・サヨ子、小木曾建、小木曾友、小黒義夫（ご家族）、奥山節子、小倉美恵子、小田中聡樹、小野澤史、小野ちづ子、小野寺武雄（か）加賀武、加瀬勝子、勝部純基、加藤福和（Đình Văn Phước）、金子新平、金田和子、鹿野快男・博子、川上剛、川口善行、川崎依邦（き）菊地満寿美、城戸康通（く）Nguyễn An Trung、Nguyễn đức Hòa、Nguyễn Ngọc Duyên、Nguyễn Hồng Quân、Nguyễn Thái、Nguyễn Tiến Quang、Nguyễn Văn Ân/Đỗ Văn Dũng、Quách Đình Huân、工藤博司、工藤（萩野）正司、工藤幹雄、久保哲也、熊沢敏一、倉内憲孝、栗原静子（け）計宇生・孟令樺（こ）Ngô Diệu Kế、許鴻輝（Koh Hwee Hong）、河野真、高秉澤 / 姜英園、五島文雄、小林正治、小林孝信、小宮信介、小山芳江、是澤優、近藤恵子、近藤壮一、近藤昇（さ）齊藤泰生、三枝辰男、榊正義・正子、笹村出、佐藤正文、佐藤亮一・説子（し）重田誠一、清水国夫、清水勇治、徐世傑（Chee Sze Keat）、尚捷（Shang Jie）、白石勝己、代田泰彦、新宅光（す）杉浦貴和子、杉浦正健、杉浦義昌、鈴木智、鈴木典之、須藤妙子（せ）関川弘司、関谷操男（た）Đào Hữu Dũng、田井満里、田井良知、田井亮吉、ダオ・チ・ミン（Đào Thị Minh）/ ト・ブー・ルーン（Tô Bửu Lương）、高木紀子、高橋作太郎、高橋滋、高橋徹生、高野靖子、竹治智、田中克江、檀良（Đặng Lương Mô）（ち）張忠信（つ）佃吉一、土屋元子、鶴尾能子、鶴園裕（て）テイ・メン・フェイ（Tay Meng Fei）（と）Dương Văn Quả、Trần Thanh Việt、Trương Văn Tân、Trần Văn Thọ/Tuyết Minh、Trần Việt Hùng、（一社）東京華僑総会、外山経子、寅野滋（な）中島明彦、中島純司、永井和子、永井ひろみ、中曾根信・不二、中野正明、中島正喜、中原和夫、永山寿子（に）西岡佐代子、西川恵、新田宜子（の）野田春美、野本明裕（は）萩原伊助、浜崎永壽、濱屋悦次、林均（ひ）永高律子、平峯克、広江重徳（ふ）Phạm Vũ Thịnh、Phan Văn Ngân、Vũ Mạnh Huỳnh、Vũ Tất Thắng/Vũ Thị Tuyết、Huỳnh Mùi、符祝慧、福壤二、福井弘之、福本一、藤原一枝、布施知子（へ）ヘン・フ・チョン（Heng Fu Chong）（ほ）穂積亮次、堀香奈美（ま）Mai Văn Hào、馬杉栄一、松

岡弘、松原許子、松本國男、眞山静子、真弓忠（み）水田誠、湊勝昭、三代沢史子（む）村田進、村山富市（も）本村博志、森尾正照（や）安川隆子、柳瀬修三、山川民子、山口憲明、山田真美子、山田守一、山本章治（よ）米田康三、米長泰、米満良暢（り）Lien Hoa、劉錫江、林登居・ヒサ子（れ）Lê Bá Phúc、Lê Ngọc Thảo、Lê Văn Hiền、Lê Văn Tâm、匿名希望1名 以上

## 新星学寮建替えから寮再開まで（経過）

### 2011.3 東日本大震災

その後、地震頻発：学寮の老朽化した木造の建物に在寮生（当時、ほとんどが留学生）が不安を訴える

**2014.9**～ 新星学寮の工藤正司代表（アジア学生文化協会：ASCA 元常務理事）の呼びかけで、寮友による「新星学寮の建て直しを考える会」を発足。会議を重ねる。第1回目のメンバー：（出席）工藤（呼びかけ人）、小木曾、ターリン、佐藤、山本、佃、布施（ABK）、加賀、符（シンガポール）、徐（マレーシア）、アン（ベトナム）、（欠席）杉浦、千代田、大畑（穂積一成氏入院中の為、一成氏夫人）、井上、清水、城野、竹俣、馬（マレーシア）、劉（マレーシア）；まず基本事項として、新星学寮の土地はASCAの所有で、現在寮と穂積一成氏の居宅があるので、一成氏の意向を十分尊重することを確認し、工藤氏より意向を伺い、返事をいただく。会はその後回を重ね、途中寮友の植田、中島両氏が加わり、熱心な寮友が各回10～12名集まり各種提案・検討を重ね、2015.11.（第8回）には、現在の敷地に新しい建物を建てるという結論を出す

**2015.6** 文京区に助成金申請、7月に耐震診断を実施。結果、「震度6以上で倒壊する可能性が高い」との診断報告がでる。耐震補強、リフォーム、建て直して、予算を含め検討

**2016.5** 「新星学寮の建て直しを考える会」は文書でASCAに話し合いの申し入れをする。第1～8回の議論をまとめ、どのような建物を建てるか、資金調達の方法をどうするか、新しい寮の運営について等の話し合いを提案。「新星学寮の建て直しを考える会」のメンバー参加

ASCA 小木曾理事長受諾。協会からは理事長、常務理事、事務局長参加

**2016.7** 「新星学寮の建て直しを考える会」とASCAの合同会議（「新星学寮建替え検討会」）開始  
月1度のペースで開催。2017.5.まで10回会を重ね、具体的な原案を作成し、寮友総会（説明会）を開催することに

**2017.4** 新星学寮の残寮寮生全員退寮

**2017.5** 寮友総会開催：「新星学寮の建替え説明会」；経緯説明、建物設計2案提示、建築会社、名称、寄付について決定

**2017.6**～ 建設会社と具体的な詰め／建設資金について具体的な詰め／穂積家と家の取り壊しについての話し合い等

**2017.9** ASCA60周年記念式典で、新星学寮建替え募金協力のお願書配付

**2017.11** 既存の新星学寮並びに穂積家の取り壊しに着手

**2017.12** 寮友約200名に募金協力のお願書郵送  
既存の建物の取り壊し完了、整地、地鎮祭

**2018.1** 新寮建設着工

**2018.6** 新寮建設竣工。その後外構工事等実施

**2018.11** 新寮内覧会

**2018.12** 新寮生募集開始

**2019.1** 新寮生面接・決定

**2019.3** 新寮生入寮開始（14名：日本5、中国3、韓国3、台湾2、タイ1）

「新星学寮建替え検討会」閉会（第28回）。支援の会として友の会（仮称）検討中

新星学寮建替え募金終了（寄付額：¥34,062,520）

**2019.4** 新星学寮活動再開



## しょうがくきんじょうほう 奨学金情報

※奨学金情報は Japan Study Support のホームページよりご覧いただけます (<http://www.jpss.jp/ja/>)

### こうえきざいだんほうじん さとうようこくさいしょうがくざいだん 公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団

**対象:** バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムから来日し、もんぶかがくしょうしよかつ だいがく がくぶ だいがくいん ざいせき 文部科学省所轄の大学の学部または大学院に在籍する当該国の国籍を有する私費留学生で、下記の条件を満たす者（ただし、日本国籍を有する者、たんきだいがくせいおよ けんきゅうせい のぞ 短期大学生及び研究生を除く。）

- ①国際理解と親善に関心を持ち、財団の交流会に必ず出席できる者
- ②他の奨学支援団体等から奨学金又はそれに類する金品を受給していない者（研究助成金などを受給している場合は事前に事務局に問い合わせること。貸与奨学金については応募可）
- ③学内の特別プログラム等で、用途の自由な金銭を受給していない者
- ④在留資格「留学：college student」を有する者
- ⑤日本に在住する親がいない者
- ⑥「博士」の学位を取得していない者
- ⑦課程の修学期間が奨学金支給開始時期より1年以上ある者
- ⑧勉強・研究に支障のない日本語能力を有する者
- ⑨当財団の奨学生を終了後、同窓生として当財団

の交流活動やネットワーク参加等に積極的に協力できる者

**給付金額:** (学部学生) 月額 15 万円、(大学院生) 月額 18 万円 (他に学会出席補助金制度あり)

**給付期間:** ① 2019 年 10 月から 2021 年 9 月までの 2 年間 ② 2020 年 4 月から 2022 年 3 月までの 2 年間

(ただし、採用時の課程修了までの標準修業年限とする。)

**募集人数:** 約 20 名

**応募方法:** 在籍する大学の留学生課を窓口として、応募書類を募集期間内に留学生課から当財団宛に郵送にて提出すること。

**書類受付期間:** 8 月 21 日 (水) 消印有効

※ただし、2019 年 10 月および 2020 年 4 月入学の新編入生 (学部生) および新入生 (大学院生) に限り 9 月 11 日 (水) まで受け付けます。

**団体連絡先:** 〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-7-1 公益財団法人佐藤陽国際奨学財団事務局 ☎ 03-5487-2775

URL <http://www.sisf.or.jp>

お知らせ

教職員向け「外国人留学生就職支援研修会」のご案内

- 日時：2019年6月29日(土) 13:30～17:30
- 場所：国士館大学世田谷キャンパス 34号館A棟2階A207教室  
 <東京都世田谷区世田谷4-28-1(小田急線梅ヶ丘駅 徒歩9分)>
- 参加対象：外国人留学生の就職支援・指導に関わっている、または関心のある学校関係者
- プログラム：
  1. 発表① 外国人留学生の日本における就職の最新動向と、就労ビザの最新ニュース
  2. パネルディスカッション(採用事例紹介)  
 日本企業における、外国人社員(元留学生)の活躍状況と課題点等
  3. ワークショップ  
 \*テーマ「外国人留学生の就業力とは?就業力を高めるために必要なこととは?」
  4. 発表② 留学生の就職指導・支援に際してのポイント
- 登壇者：
  - ・(株)ASIA Link 代表 小野朋江(元日本語教師)
  - ・(株)ASIA Link マネジャー 井上洋輔(元専門学校教員)
  - ・関西大学 国際部 河野礼実
- 参加費：無料
- 詳細・参加申し込み <https://kenshuukai.jimdofree.com/>
- 主催・お問合せ：「留学生就職支援研修会 事務局」株式会社ASIA Link 内 担当：井上、小野  
 TEL. 042-312-1074 Email. info@asialink.jp

# MEMBERS

〈会費とご寄附の報告〉

2019年2月

正会員

- (1口)
- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 中原 和夫                 | 那覇市  |
| 平峯 克                  | 川崎市  |
| 山口 誠                  | 吾妻郡  |
| 田中 武雄/多美子             | 水戸市  |
| アジア・コミュニティ・センター<br>21 | 文京区  |
| 小木曾 建                 | 世田谷区 |
| 関川 弘司/郁子              | 千葉市  |
| 北林 保之                 | 中川郡  |

ご寄附

- |        |      |
|--------|------|
| 仁木 美代子 | 文京区  |
| 中原 和夫  | 那覇市  |
| 酒井 杏郎  | 渋谷区  |
| 小木曾 建  | 世田谷区 |
| 栗原 静子  | 戸田市  |

2019年3月

特別会員

- (3口)
- (一財)海外産業人材育成協会  
足立区
- (1口)
- 立命館アジア太平洋大学  
別府市

賛助会員

- (1口)
- |           |     |
|-----------|-----|
| 雅留宮 久磨/澄子 | 野田市 |
| 布施 知子     | 目黒区 |

正会員

- (2口)
- |          |     |
|----------|-----|
| 清水 勇治/泰代 | 高崎市 |
|----------|-----|
- (1口)
- |        |     |
|--------|-----|
| 山海 保   | 葛飾区 |
| 岩佐 佳英  | 文京区 |
| 東京都市大学 | 横浜市 |

ご寄附

- |       |     |
|-------|-----|
| 河合 秀高 | 横浜市 |
|-------|-----|

皆様の暖かい御支援に  
感謝申し上げます

## ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがありません。皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

## 協会のあらまし

名称：公益財団法人アジア学生文化協会  
ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION  
(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 白石勝己

設立：1957年（昭和32年）9月18日  
故穂積五一氏創設

目的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

## ◇主な事業◇

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

## ◇会費（年額）◇

正会員 1口 1万円  
賛助会員 1口 5万円  
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（十税）でお送りいたします。

当財団に対する寄附金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税、及び法人税の税制上の優遇措置があります。

2015年度より購読料に別途消費税をご負担いただくことになりました。何卒ご了承下さい。

## 『アジアの友』発行回数変更のお知らせ

諸般の事情につき、2019年度より本誌『アジアの友』は昨年度までの年6回発行から、年4回の発行に変更をさせていただきます。定価は従来通り1部500円（税別）です。発行回数の変更に伴い、ご迷惑をおかけすることになりますが、今後とも引き続きご高配賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 後記

この4月から新しい法律（改正出入国管理法）が施行され、外国人労働者の受け入れが容易になり、日本も新たな局面を迎えつつあります。そうした状況の中、ここ数年の間に急増した日本語学校の現状と今後については大変気になるところです。その周辺の実情について把握し、お知らせできればと思いましたが、現段階では諸状況が流動的に把握が難しく、今後の課題とすることとし、代わって、いま、中国人留学生の間で広がりつつある大学進学予備校の実態を取材してみました。

寮友、関係者のご協力で新しく建替えられた新星学寮には日本人学生、留学生計14名が入寮し、4月には寮長も決まり新たな寮生活が開始しました。また、管理人として元ABK在館生のタイのアドゥン・カナンシンさんご一家が入られました。そして4月には、「新星学寮建替え検討会」のメンバーによる歓迎会、近隣の方々及びABK職員との交流会や勉強会が行われています。（F）

## アジアの友 2019年度 4・6月号

2019年6月10日発行（通刊第538号）

年間購読（送料共）3,000円＋税 1部 500円＋税

発行人 白石勝己  
編集 アジアの友編集部  
発行所 公益財団法人 アジア学生文化協会  
東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)  
電話番号：03-3946-4121 ファクシミリ：03-3946-7599  
振替口座：00150-0-56754 E-mail：tomo@abk.or.jp  
ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION  
(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599

Email：tomo@abk.or.jp

Home Page：http://www.abk.or.jp/

会員並びにご購読のお申込みはメール・電話または巻末の振替用紙にてお願いいたします。

